

千葉大学大学院融合理工学府 (博士前期課程)

一般選抜 (2019年10月・2020年4月入学) 学生募集要項

※融合理工学府の複数のコースへの併願はできません。

出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究
内容等について問い合わせの上、出願してください

【理学系コース】

数学・情報数理学コース
地球科学コース
物理学コース
化学コース
生物学コース

【工学系コース】

情報科学コース
リモートセンシングコース
都市環境システムコース
物質科学コース
共生応用化学コース
建築学コース
イメージング科学コース
デザインコース
機械工学コース
医工学コース
電気電子工学コース

大学院融合理工学府ホームページ <http://www.se.chiba-u.jp>
千葉大学ホームページ <http://www.chiba-u.jp>

目 次

1	募集人員	1
2	出願資格	2
3	出願手続等	3
4	出願資格の認定手続について	6
5	身体等に障害のある入学志願者の事前相談	7
6	入学者の選抜, 期日, 試験場, 注意事項	
	理学系コース	8
	工学系コース	14
7	合格者発表	23
8	入学手続	23
9	修了要件	24
10	早期修了について	24
11	昼夜開講制について	24
12	長期履修学生制度について	24
13	特別プログラムについて	24
14	成績の本人開示について	24
15	融合理工学府案内	25
16	教員の教育研究領域及び内容	
	理学系コース	33
	工学系コース	59

【出願書類の提出・問合せ先】

理学系コース：数学・情報数理学，地球科学，物理学，化学，生物学

担当係 千葉大学理学部学務係

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

電話：043 (290) 2880

Eメール：iad2880@office.chiba-u.jp

場所：理学部1号館2階

工学系コース：情報科学，リモートセンシング，都市環境システム，物質科学， 共生応用化学，建築学，イメージング科学，デザイン， 機械工学，医工学，電気電子工学

担当係 千葉大学工学部大学院学務グループ

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

電話：043 (290) 3885

Eメール：kougaku-daigakuin@office.chiba-u.jp

場所：工学部11号棟1階

千葉大学大学院融合理工学府（博士前期課程） 学 生 募 集 要 項

大学院融合理工学府博士前期課程の志願者は、2019年10月入学試験と2020年4月入学試験の併願及び複数コースへの併願はできません。

また、出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究内容等について問合せの上、出願してください。

本募集要項は、募集人員、出願資格及び入学手続き日等以外は、入学時期に関わらず共通の内容となっています。また、理学系、工学系の記載がないものについては、両分野どちらのコースにも共通の内容となっています。

千葉大学及び志望コースの大学院入学者受入れ方針は、ホームページをご覧ください。

1 募集人員

専攻	コース	系	募集人員		志望指導教員
			2019年10月入学	2020年4月入学	
数学情報科学	数学・情報数理学	理学	—	24名	第3志望まで認めます。
	情報科学	工学	若干名	50名 注2	
地球環境科学	地球科学	理学	—	21名	第2志望まで認めます。
	リモートセンシング	工学	若干名	15名	第3志望まで認めます。
	都市環境システム	工学	若干名	45名	
先進理化学	物理学	理学	若干名	24名	志望する分野（3領域9分野）の中から第3志望まで認めます。
	物質科学	工学	若干名	50名	第3志望まで認めます。
	化学	理学	—	32名	
	共生応用化学	工学	若干名	74名	
	生物学	理学	若干名	27名	第2志望まで認めます。
創成工学	建築学	工学	若干名	50名	第3志望まで認めます。
	イメージング科学	工学	若干名	15名	
	デザイン	工学	若干名	52名	第1志望のみ認めます。
基幹工学	機械工学	工学	若干名	62名	第3志望まで認めます。
	医工学	工学	若干名	31名	
	電気電子工学	工学	若干名	57名	

注1 入学時期により出願資格が異なりますので、注意してください。

注2 情報科学コースは、覚書に基づく工業高等専門学校からの推薦による選抜も含まれます。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

注意：以下の（１）～（１１）の中の※が付いた年月の 2020年3月は2020年4月入学者の場合であり、2019年10月入学者の場合の年月は2019年9月に読み替えます。

- (1) 大学（学校教育法第83条第1項に定める大学をいう。以下同じ。）を卒業した者及び2020年3月※までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規程により学士の学位を授与された者及び2020年3月※までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月※までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年3月※までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2020年3月※までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月※までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 2020年3月※までに大学に3年以上在学し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 2020年3月※までに外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (11) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び2020年3月※までに22歳に達するもの

出願資格（9）、（10）、（11）による志願者は、事前に出願資格の認定審査が必要となりますので6ページ「4 出願資格の認定手続について」を参照してください。

3 出願手続等

- (1) 受付期間 2019年6月25日(火)～6月27日(木)まで(必着)
 (2) 受付時間 9時から17時まで
 (3) 受付場所 理学系コース：理学部1号館 2階
 工学系コース：工学系総合研究棟2 2階

次の(4)の出願書類を取り揃えて、直接持参してください。(裏表紙の地図を参照のこと)なお、やむを得ず郵送する場合は、(1)の出願受付期間までに必着するように、志望するコースの担当係あてに書留速達で郵送してください。(日本国外から出願する場合は、EMSで送付してください。)

また、書類が不備の場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ志望コースの担当係等へ連絡してください。

(4) 出願書類

①入学願書、②写真票・受験票のみ、2020年4月入学者用 **A1** **A2** と2019年10月入学者用 **B1** **B2** に分かれています。ほかの出願書類は全て共通です。

記入に際しては、黒のボールペンを用いて自筆、楷書でいねいに記入してください。(消せるボールペンなど改ざん可能なものは使用しないでください。)誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。

本学所定用紙 **C** は、本学府のホームページからダウンロードして使用することも可能です。

ただし **A1** **A2** と **B1** **B2** は、この募集要項にとじ込みのものを必ず使用してください。

出願書類	注意事項
①入学願書	本学所定の用紙に記入してください。 4月入学 A1 10月入学 B1
②写真票・受験票	本学所定の用紙に記入してください。 (写真票と受験票は切り離さないでください。) 4月入学 A2 10月入学 B2
③成績証明書	最終出身学校長又は学部長が作成したもの。 外国人留学生(外国の大学を卒業した者)は、出身大学の成績証明書(和文か英文に限る)を提出してください。 なお、編入学で大学へ入学した者及び出願資格(2)の志願者は、短期大学、高等専門学校(本科)等の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に3年次編入学し、現在在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。
④卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	最終出身学校長又は学部長が作成したもの。 「卒業(修了)見込証明書」を提出する者は、入学手続の際「卒業(修了)証明書」を提出してください。(和文か英文に限る)
⑤学位授与証明書又は学位授与を申請する旨の証明書 ※出願資格(2)の志願者のみ	●学士の学位を授与された志願者 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長が証明したもの。 ●学士の学位を授与される見込みの志願者 短期大学長又は高等専門学校長が作成する学位授与を申請する旨の証明書。様式は任意とします。 この証明書を提出する者は、入学手続の際「学位授与証明書」を提出してください。

出願書類	注意事項
<p>⑥TOEIC L&R 又は TOEFL のスコアシート</p> <p>※数学・情報数理学コースはスコアを得点とする場合のみ提出</p> <p>※地球科学コースは不要</p> <p>※リモートセンシングコースとイメージング科学コースは、8/16（金）の口頭試問時に回収します。</p>	<p>【TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出する場合の共通事項】により確認のうえ、該当するスコアの原本及びコピーの両方を出願時に提出してください。（理学系コース 11 ページ，工学系コース 20 ページ参照）</p> <p>なお、志願するコースにより提出書類として有効となるテストが異なります。</p> <p>また、TOEIC もしくは TOEFL は、2017 年 6 月以降に受験したものに限りません。</p> <p>出願書類を持参する場合は、スコアの原本は返却いたします。また、郵送での出願の場合には、スコアの原本を受験票とともに返送します。</p>
<p>⑦検定料 30,000 円</p> <p>※現在国費外国人留学生の場合は、検定料は不要です。事前にお問合せ願います。</p>	<p>検定料は、出願する前に振り込んでください。検定料は返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が 2020 年 3 月 31 日（火）17 時までに所定の返還手続を行った場合は、全額を返還します。返還手続の詳細については、志望するコースの担当係に確認してください。</p> <p>●日本国内居住の志願者</p> <p>出願する前に、この要項に添付してある所定の振込用紙により、検定料 30,000 円を最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。（振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM（現金自動預払機）は使用できません。）クレジットカードによる支払もできません。</p> <p>振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用（大学提出用）」を志願票に貼り付け、「検定料納入方法」の「銀行振込」欄にチェックを入れてください。</p> <p>なお、証明書に取扱い金融機関出納印がないものは無効となりますので、金融機関で受領する際に必ず確認してください。</p> <p>入学願書を持参する場合も、検定料は振り込んでください。</p> <p>●海外在住の志願者</p> <p>出願する前に、クレジットカード決済により、検定料 30,000 円の支払手続をしてください。</p> <p>① 千葉大学ホームページ (http://www.chiba-u.ac.jp) の日本語版トップページにある<入試案内>→<海外からの検定料支払い>→<検定料支払い受付画面へ>から手続を行ってください。</p> <p>（検定料支払い受付画面 https://www.kentei.chiba-u.jp）</p> <p>② 検定料の支払手続終了後、千葉大学から申込内容確認の E メールが送信されます。内容確認後、その Eメールの文面を印刷して、出願書類に添付して提出してください。</p> <p>(注) 1 入学願書にある「検定料納入方法」の「クレジットカード決済」欄にチェックを入れてください。</p> <p>2 クレジットカードによる検定料の支払は、2019 年 6 月 1 日（土）から 6 月 27 日（木）まで手続き可能となります。なお、出願書類を提出する前に払込手続をしてください。</p> <p>3 利用できるクレジットカードの種類については、検定料支払手続の際にホームページで必ず確認してください。</p> <p>海外からの検定料支払方法は、クレジットカード決済のみとなります。海外の銀行からの振込送金による支払はできません。クレジットカード決済による手続ができない場合は、志望するコースの担当係まで連絡をしてください。</p>

出願書類	注意事項
⑧写真3枚	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向き・脱帽の同じ写真（縦4cm×横3cm）を入学願書、写真票・受験票の写真欄に貼り付けしてください。
⑨返信用封筒2枚 ・受験票等在中 ・合格通知書在中	本募集要項に添付してある返信用封筒2枚を提出してください。封筒にはそれぞれ志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記してください。 ・「受験票等在中」封筒には82円分の郵便切手を貼付してください。 ・「合格通知書在中」封筒には切手を貼る必要はありません。 合格通知書は簡易書留郵便で発送します。必ず受け取れる宛先を明記してください。（簡易書留郵便は、不在の場合は郵便局に持ち帰ってしまうので注意してください。）
⑩口頭試問結果通知用封筒 （7月20日もしくは21日に口頭試問を受験する者のみ提出）	同封の口頭試問結果通知用封筒（82円分の郵便切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を記入）を提出してください。
⑪住所シール	入学手続関係書類送付用に使用します。所定の様式に記入してください。
⑫推薦書 （情報科学コースのみ）	覚書に基づく工業高等専門学校からの推薦による選抜で出願するものは所定の様式 E で作成してください。 （様式は本学府のホームページからダウンロードしてください。記載責任者が厳封すること）
外国人志願者は、上記の提出書類のほか下記の書類を提出してください。	
⑬履歴書	本学所定の用紙 C に記入してください。
⑭住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> ●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格又は在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。コピーは不可。 ●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別、在留資格を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。

(5) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 証明書類は、指定がない限り全て原本が基本です。コピー、ファックスや公式でない印刷物は受理できません。また、一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。再発行されない原本を提出する場合、出願前に必ず志望コースの担当係に相談してください。
- ③ 出願後の出願内容の変更は認めません。ただし、出願後の住所変更については書面（書式は自由）により届け出てください。
- ④ 複数コースに併願した場合は、失格となります。
- ⑤ 入学願書等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 出願資格（2）により出願し、本入学者選抜に合格した者が、学位授与の申請を行わなかった場合には、その旨を本学府長宛速やかに文書で通知してもらうよう短期大学長又は高等専門学校長に申し出てください。
- ⑦ 本選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- ⑧ そのほか不明な点があるときは、志望コースの担当係へ問合せってください。

4 出願資格の認定手続について

出願資格（9）、（10）、（11）による志願者は、次の手続を行ってください。本学府が審査の上、決定します。

志願者は、出願前にあらかじめ志望コースの担当係等へ問合せてください。

(1) 提出書類

以下の表の該当する出願書類にある○印の書類を全て提出してください。

本学所定用紙 **C** **D** は、本学府のホームページからダウンロードして使用することも可能です。

提出書類	注意事項等	出願資格		
		(9)	(10)	(11)
入試試験出願資格認定申請書	本学所定の用紙 D に記入してください	○	○	○
成績証明書	最終出身学校長又は学部長が作成したもの。 (和文か英文に限る)	○	○	○
修了(卒業)証明書又は 修了(卒業)見込み証明書	最終出身学校長又は学部長が作成したもの。 (和文か英文に限る)	/	○	○
推薦書	●出願資格(9)又は(10)による志願者 最終出身学校長又は学部長が作成したもの。 様式は任意とします。 ●出願資格(11)による志願者 有職者の場合、所属の長又は指導的立場にあたる者が作成したものが望ましい。その他の場合は、自己推薦書でもよい。様式は任意とします。	○	○	○
出身大学(学部)履修規程	卒業に必要な授業科目・単位数が明記されたもの。	○	○	/
その他	審査に参考となるもの(学術論文およびそれに相当するもの)	/	/	○
外国人志願者は、上記提出書類のほか下記の書類を提出してください。				
履歴書	本学所定の用紙 C に記入してください。	○	○	○
住民票の写し	●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの(在留資格又は在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号(マイナンバー)が記載されていないもの)。コピーは不可。 ●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。 パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別、在留資格を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。	○	○	○

(2) 提出期間

2019年5月15日(水)から5月17日(金)まで(必着)

(3) 提出方法

受付時間：9時から17時まで

※提出書類を郵送する場合は、封筒の表に「出願資格認定申請中」と朱書きの上、書留郵便で送付してください。(日本国外から出願する場合はEMSで送付してください。)書留郵便又はEMSで提出する場合も2019年5月17日(金)17時までに必着とします。

また、書類が不備の場合は受理できないことがあります。日本国外から直接送付する場合は、あらかじめ志望コースの担当係へ連絡してください。

(4) 結果通知

認定の結果は、本人宛通知します。

(5) 出願手続

出願資格を有すると認められた場合、願書受付期間に出願してください。その際、出願資格認定申請時に提出した書類については、改めて提出する必要はありません。

(6) 入学者選抜

① 出願資格を有すると認められた志願者の選抜は、すべて一般志願者と同様に行います。

② 出願資格(9)、(10)で受験して合格した場合は、最終判定を行いますので、次の書類を志望コースの担当係に提出してください。提出された書類に基づき合否の最終判定を行います。判定の結果、合格を取り消す場合もあります。

出願資格(9)：成績証明書(大学までに修得したすべての科目・単位を記載したもの)

出願資格(10)：修了証明書及び成績証明書(修了時のもの)

③ 提出期日

2019年10月入学の場合：2019年9月11日(水)

2020年4月入学の場合：2020年2月19日(水)

④ 最終判定の結果発表

2019年10月入学の場合：2019年9月17日(火)14時(予定)

2020年4月入学の場合：2020年3月6日(金)14時(予定)

5 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上(及び修学上)特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

①事前相談申請書(用紙は、志望コースの担当係に請求してください。)

②医師の診断書(障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの)

(2) 事前相談の締切日

2019年5月17日(金)17時まで

(3) 書類提出先

志望コースの担当係に提出してください。(表紙参照)

(4) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

6-1. 入学者選抜

理学系コース：数学・情報数理学，地球科学，物理学，化学，生物学

(1) 選抜方法

入学者の選抜方法は，各専攻・コースで異なりますので注意してください。

志望コースが課す全ての科目を受験しなかった場合は，失格となります。

コース名	選 抜 方 法	口頭試問試験の結果通知について
数学・情報数理学	成績証明書，学力検査（英語及び専門科目）及び口頭試問によって行います。	学力検査及び面接免除については， 8月2日（金） までに通知します。
地球科学	成績証明書，面接（学力検査・口頭試問免除希望者のみ）学力検査（英語及び専門科目）及び口頭試問によって行います。 なお，成績証明書及び面接の結果により，学力検査・口頭試問を免除することがあります。学力検査・口頭試問の免除を希望する者は，第1志望の指導教員に必ず出願前に相談したうえで，入学願書及び受験票所定欄の「面接を希望する」を選択（チェック）してください。	
物理学 化学 生物学	成績証明書，学力検査（英語及び専門科目）及び口頭試問によって行います	

(2) 選抜の日時

出願コースによって選抜の日程が異なります。選抜の詳細は下記の通りです。出願コースを確認し間違えないようにしてください。

コース名	7月21日（日）	8月8日（木）		8月9日（金）
	口頭試問	学力検査		口頭試問
数学・情報数理学	/	英語 10:00～11:00	専門科目 12:00～16:00	13:00～
地球科学	10:00～※	英語 10:00～12:30	専門科目 13:30～15:30	13:00～
物理学	/	専門科目(1) 10:00～12:00	専門科目(2) 13:30～15:30	13:00～
化学	/	専門科目 10:00～13:00	/	13:00～
生物学	/	専門科目 10:00～12:00	/	13:00～

※ 地球科学コースの口頭試問の受験は，学力検査の免除を希望する者のみが対象です。前述の「(1) 選抜方法」を参照のこと。

(3) 学力検査等科目

コース名	口頭試問及び専門科目
<p>数学・情報 数 理 学</p>	<p>【英語】 出願時に受験者が以下のいずれかを選択し、得点を決定します。 選択 1：学力検査（英語）を受験する → 得点は学力検査（英語）の結果とします 選択 2：TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出し、学力検査（英語）は受験しない → 得点は TOEFL・TOEIC L&R のスコアを 100 点満点とした結果とします 選択 3：TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出し、かつ学力検査（英語）を受験する → 得点は TOEFL・TOEIC L&R のスコアを 100 点満点とした結果または学力検査（英語）の結果のいずれか高得点を利用します</p> <p>【専門科目】 必修基礎科目 A0 と選択基礎問題 A と選択専門問題 B からなります。A0 は全分野に共通の常識問題、A は大学 1～2 年で履修する専門科目（線形代数学、微積分学、位相空間論、統計学、情報数理学）の問題、B は大学 2～4 年で履修する各専門分野の問題です。</p> <p>【口頭試問】 第一次選抜 [学力検査（英語及び専門科目）] 合格者に対して行います。 ※なお、第一次合格者は 8 月 9 日（金）12 時に千葉大学理学部 1 号館掲示板に発表します。</p>
<p>地 球 科 学</p>	<p>【英語】 入学試験当日（8 月 8 日（木））に学力検査として TOEFL-ITP を実施します。</p> <p>【専門科目】 地球科学系の教育研究領域（地球内部科学、地球表層科学）志願者に対して、次ページの [補足] に示された講義内容に関する専門問題を出題します。</p> <p>【口頭試問】 学力検査（英語及び専門科目）受験者全員に対して行います。（第一次選抜は行いません）</p>
<p>物 理 学</p>	<p>【英語】 提出された TOEFL・TOEIC L&R のスコアを用いて得点を決定します。</p> <p>【専門科目】 力学、電磁気学、量子力学、統計物理学を中心に出题します。</p> <p>【口頭試問】 第一次選抜 [学力検査（英語及び専門科目）] 合格者に対して行います。 ※なお、第一次合格者は 8 月 9 日（金）12 時に千葉大学理学部 1 号館掲示板に発表します。</p>
<p>化 学</p>	<p>【英語】 提出された TOEFL・TOEIC L&R のスコアを用いて得点を決定します。</p> <p>【専門科目】 物理化学、無機・分析化学、有機化学、生命化学の各分野からの問題です。</p> <p>【口頭試問】 第一次選抜 [学力検査（英語及び専門科目）] 合格者に対して行います。 ※なお、第一次合格者は 8 月 9 日（金）12 時に千葉大学理学部 1 号館掲示板に発表します。</p>

コース名	口頭試問及び専門科目
生物学	<p>【英語】 提出された TOEFL・TOEIC L&R のスコアを用いて得点を決定します。</p> <p>【専門科目】 生物学系の分子生物学，細胞生物学，発生生物学，分子生理学，生態学，系統学の各専門分野の問題です。</p> <p>【口頭試問】 学力検査（英語及び専門科目）受験者全員に対して行います。（第一次選抜は行いません）</p>

[補足] 地球科学コースの専門科目について

地球科学コースの専門科目は，学部で行っている「地球科学入門 A」「地球科学入門 B」「層序学概論」（層序学概論-1 及び層序学概論-2）「岩石鉱物学概論 I（岩石鉱物学概論 I-1 及び岩石鉱物学概論 I-2）」「地球ダイナミクス概論（地球ダイナミクス概論-1 及び地球ダイナミクス概論-2）」「地表動態学概論（地表動態学概論-1 及び地表動態学概論-2）」の講義内容を出題範囲として，地球科学の知識や思考力を問います。

地球内部科学（「地球科学入門 A」「岩石鉱物学概論 I」「地球ダイナミクス概論」）に関する問題が 3 問，地球表層科学（「地球科学入門 B」「層序学概論」「地表動態学概論」）に関する問題が 4 問の計 7 問が出題され，その中から自由に 3 問を選択して解答する形式とします。

それぞれの講義の概要は以下のとおりです。講義内容は千葉大学ホームページのシラバスでも閲覧できます。また，各講義の資料等は地球科学科事務室（理学部 5 号館 201 室）で閲覧することができます。

「地球科学入門 A」・・・主に固体地球を対象とし，地球の成り立ち，構成，活動などに関する基礎的な内容を講義している。

「地球科学入門 B」・・・気圏，水圏，岩石圏及び生物圏を通じて地球表層部で起こる諸現象に関する基礎的な内容を講義している。

「層序学概論」・・・堆積岩を研究対象として地球史を復元し理解する際に必要不可欠となる層序学の基礎概念を講義している。

「岩石鉱物学概論 I」・・・固体地球を構成する岩石・鉱物を科学的に見る・扱う方法のうち，結晶形態と内部構造，対称性，岩石の分類，珪酸塩鉱物の分類，相平衡図に関する基礎的な内容を講義している。

「地球ダイナミクス概論」・・・地質構造，テクトニクス，地震，地磁気・電磁気，重力，測地などについて，基本的な内容を講義している。

「地表動態学概論」・・・地球生物の生活基盤である自然的要素（地形・気候・土壌・陸水・植生）の多様な成り立ちとその変化過程について，自然地理学的・第四紀学的視点から基礎的な内容を講義している。

(4) 配点

コース名	7/21 口頭試問 (学力検査免除)	外国語 (英語) (注)	専門科目	面接 (口頭試問)	合計
数学・情報 数 理 学		100 点	500 点	200 点	800 点
地球科学	(可・否)	200 点	200 点	100 点	500 点
物理学		200 点	600 点	200 点	1,000 点
化学		300 点	700 点	100 点	1,100 点
生物学		300 点	400 点	100 点	800 点

【TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出する場合の共通事項】（地球科学コースは除く）

スコアは、2017年6月以降に受験したものに限り有効となります。

出願時にスコア原本の提出ができない場合、出願期間前に理学系コース担当係までご相談ください。

○理学系コースで有効となる TOEFL・TOEIC L&R のテスト及び提出書類は以下の通りとなります。

- ①・・・TOEFL-iBT ②・・・TOEFL-PBT ③・・・TOEFL-ITP Level 1
④・・・TOEIC L&R ⑤・・・TOEIC L&R -IP

・提出書類（いずれも原本を提出してください）

- ①TOEFL-iBT の場合 Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）
②TOEFL-PBT の場合 Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）
③TOEFL-ITP Level 1 の場合 SCORE RECORD（個人用スコアカード）
④TOEIC L&R の場合 Official Score Certificate（公式認定証）
⑤TOEIC L&R -IP の場合 Score Report（個人成績表）

※数学・情報数理学コースは TOEFL・TOEIC L&R のスコアを得点とする場合のみ提出
※地球科学コースは学力検査当日に TOEFL-ITP を実施するため提出不要

○TOEFL・TOEIC L&R のスコアは以下の方法により換算します。

・ TOEFL-PBT, TOEFL-iBT, TOEFL-ITP のスコアについては、以下の換算式・換算表に基づき TOEIC L&R の点数に換算した後、各コースの配点を基準に再換算します。

$$\text{TOEIC L\&R} = ((\text{TOEFL-PBT}) - 344) \div 0.229 \quad (\text{理学系 換算式})$$

なお、TOEFL-PBT, TOEFL-iBT, TOEFL-ITP の得点換算は、次ページの得点換算表に基づき換算した後、各コースの配点を基準に再換算するものとします。

・ TOEIC L&R 公開テスト及び TOEIC L&R -IP の点数は、各コースの配点を基準に換算します。

TOEFL-PBT, TOEFL-iBT, TOEFL-ITP の得点換算について

TOEFL-iBTの 得点	TOEFL-PBT及び TOEFL-ITPの得点	TOEFL-iBTの 得点	TOEFL-PBT及び TOEFL-ITPの得点
120	677	51	467
120	673	49-50	463
119	670	48	460
118	667	47	457
117	660-663	45-46	450-453
116	657	44	447
114-115	650-653	43	443
113	647	41-42	437-440
111-112	640-643	40	433
110	637	39	430
109	630-633	38	423-427
106-108	623-627	36-37	420
105	617-620	35	417
103-104	613	34	410-413
101-102	607-610	33	407
100	600-603	32	400-403
98-99	597	30-31	397
96-97	590-593	29	390-393
94-95	587	28	387
92-93	580-583	26-27	380-383
90-91	577	25	377
88-89	570-573	24	370-373
86-87	567	23	363-367
84-85	563	22	357-360
83	557-560	21	353
81-82	553	19-20	347-350
79-80	550	18	340-343
77-78	547	17	333-337
76	540-543	16	330
74-75	537	15	323-327
72-73	533	14	317-320
71	527-530	13	313
69-70	523	12	310
68	520	11	310
66-67	517	9	310
65	513	8	310
64	507-510	7	310
62-63	503	6	310
61	500	5	310
59-60	497	4	310
58	493	3	310
57	487-490	2	310
56	483	1	310
54-55	480	0	310
53	477		
52	470-473		

(5) 学力検査等の場所

千葉大学西千葉キャンパスで行います。詳細は、注意事項掲示で確認してください。

(6) 注意事項

- (1) 口頭試問に必要な事項を2019年7月19日(金)10時に理学部1号館掲示板に掲示します。
- (2) 学力検査に必要な事項を2019年8月7日(水)10時に理学部1号館掲示板に掲示します。
- (3) 検査当日は、受験票を必ず持参・携帯してください。
- (4) 検査当日、最寄りの駅から検査場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがあります。これらの行為は本学とは一切関係ありませんので、不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう充分注意してください。そのような事故が生じても本学は一切責任を負いません。

6-2. 入学者選抜

**工学系コース：情報科学，リモートセンシング，都市環境システム，物質科学，
共生応用化学，建築学，イメージング科学，デザイン，機械工学，
医工学，電気電子工学**

(1) 選抜方法

入学者の選抜方法は、各専攻・コースで異なりますので注意してください。

志望コースが課す全ての科目を受験しなかった場合は、失格となります。

コース名	選 抜 方 法	口頭試問試験の結果通知について
情 報 科 学	成績証明書，口頭試問，学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし，成績証明書，TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。 また，覚書に基づく工業高等専門学校からの推薦者については，学力検査を免除することがあります。	学力検査免除については， 8月2日（金） までに通知します。
リ モ ー ト セ ン シ ン グ	成績証明書，学力検査（口頭試問による）及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。	/
都 市 環 境 シ ス テ ム	成績証明書，口頭試問（学力検査免除希望者のみ），学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び面接によって行います。ただし，成績証明書，TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査及び面接を免除することがあります。学力検査免除希望者は，第1志望の教員に必ず事前に相談してください。	学力検査及び面接免除については， 8月2日（金） までに通知します。
物 質 科 学	成績証明書，口頭試問，学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし，成績証明書，TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。	学力検査免除については， 8月2日（金） までに通知します。
共 生 応 用 化 学	成績証明書，口頭試問（学力検査免除希望者のみ），学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし，成績証明書，TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。学力検査免除希望者は，第1志望の教員に必ず事前に相談してください。（注意参照） なお，入学願書等に第2・第3志望の指導教員名等を記入しておらず，かつ，志望する研究室に入れなかった志願者は，不合格となりますので注意してください。第2・3志望がない場合は必ず斜線を引いてください。ただし，これらの欄には同一研究室の教員を記入することはできません。研究室の教員構成はコースのホームページを参照してください。	学力検査免除については， 8月2日（金） までに通知します。
建 築 学	成績証明書，口頭試問（学力検査免除希望者のみ），学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし，成績証明書，TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。学力検査免除希望者は，第1志望の教員に必ず事前に相談してください。	学力検査免除については， 8月2日（金） までに通知します。

コース名	選 抜 方 法	口頭試問試験の結果通知について
イメージング 科 学	成績証明書, 学力検査 (口頭試問による) 及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。	
デ ザ イ ン	成績証明書, 口頭試問, 学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし, 成績証明書, TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。	学力検査免除については, 8月2日 (金) までに通知します。
機 械 工 学	成績証明書, 口頭試問 (学力検査免除希望者のみ), 学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし, 成績証明書, TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。学力検査免除希望者は, 第1志望の教員に必ず事前に相談してください。(注意参照)	学力検査及び面接免除については, 8月2日 (金) までに通知します。
医 工 学	成績証明書, 口頭試問 (学力検査免除希望者のみ), 学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし, 成績証明書, TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。学力検査免除希望者は, 第1志望の教員に必ず事前に相談してください。(注意参照)	学力検査及び面接免除については, 8月2日 (金) までに通知します。
電気電子工学	成績証明書, 口頭試問 (学力検査免除希望者のみ), 学力検査及び TOEIC L&R 又は TOEFL の成績によって行います。ただし, 成績証明書, TOEIC L&R 又は TOEFL の成績及び口頭試問の結果により学力検査を免除することがあります。学力検査免除希望者は, 第1志望の教員に必ず事前に相談してください。(注意参照)	学力検査免除については, 8月2日 (金) までに通知します。

(注) 教員への問合せは下記までお願いします

- ・ 共生応用化学コース事務室 TEL 043-290-3400
- ・ 機械工学コース事務室 TEL 043-290-3909
- ・ 医工学コース事務室 TEL 043-290-3178
- ・ 電気電子工学コース事務室 TEL 043-290-3333

※7月20日(土)の口頭試問欠席者に対しては, 結果通知は郵送しません。

(2) 選抜の日時

コース名	7月20日(土)	8月16日(金)	
	口頭試問	学力検査	
		専門科目	面接
情報科学	10:00～ ※注1	10:00～12:00	
リモートセンシング		【口頭による】 9:30～	
都市環境システム	10:00～ ※注2	9:00～12:00	14:00～
物質科学	10:00～ ※注1	9:00～12:00	
共生応用化学	10:00～ ※注2	9:00～12:00	
建築学	10:00～ ※注2	9:00～12:00	
イメージング科学		【口頭による】 9:00～	
デザイン	10:00～ ※注1	10:00～12:00	
機械工学	10:00～ ※注2	9:00～12:00	13:00～
医工学	10:00～ ※注2	9:00～12:00	13:00～
電気電子工学	10:00～ ※注2	9:00～12:00	

(注) 1 情報科学コース，物質科学コース，デザインコースの口頭試問の受験は，全員が対象です。受験しないと失格になります。前述の「(1) 選抜方法」を参照のこと。

2 都市環境システムコース，共生応用化学コース，建築学コース，機械工学コース，医工学コース，電気電子工学コースの口頭試問の受験は，学力検査の免除を希望する者のみが対象です。前述の「(1) 選抜方法」を参照のこと。

(3) 学力検査等科目

外国語（英語）：工学系コース共通	【TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出する場合の共通事項】を参照してください。
------------------	--

コース名	口頭試問及び専門科目
情報科学	<p>【口頭試問】 全員が対象です。受験しないと失格になります。口頭試問では、希望教育研究領域の志望理由、卒業研究内容、大学院での研究計画、修了後の予定などについての質疑応答をします。</p> <p>【専門科目】 以下の分野から出題します。 ・情報数学〔離散数学、確率・統計〕 ・計算機・論理設計〔ブール代数、組合せ論理回路、順序回路、計算機構成、ネットワーク〕 ・プログラミング・アルゴリズム〔アルゴリズム設計、データ構造〕</p>
リモートセンシング	<p>【専門科目】 専門科目の筆記試験はありません。 事前に現在取り組んでいる研究（卒論等の内容）又はこれから取り組みたいと思っている研究について、A4用紙2ページの資料を作成し、10部持参してください。その資料の内容及び学部等での履修内容を踏まえて大学院での研究計画に関して、志望動機、環境リモートセンシングに関する基礎知識、研究意欲、修了後のキャリアデザイン等を含めて口頭試問による学力検査を行います。</p> <p>なお、TOEIC等のスコア票は口頭試問時に回収しますので、原本及びコピーを必ず持参すること。</p>
都市環境システム	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。口頭試問の際、大学院での研究計画に関する資料（A4サイズ用紙1枚を10部）等を持参してください。</p> <p>【専門科目】 以下の8科目から各1問ずつ出題される8問のうち、任意の2問を検査場で選択してください。 ①都市計画・住環境計画、②都市建築デザイン、③構造力学・材料力学、④振動工学・防災工学、⑤環境エネルギー工学、⑥環境化学工学、⑦情報処理・情報理論、⑧システム数理・確率統計</p> <p>【面接】 面接の際、大学院での研究計画に関する資料（A4サイズ用紙1枚を10部）等を持参してください。</p>
物質科学	<p>【口頭試問】 全員が対象です。受験しないと失格になります。口頭試問では、卒業研究及びそれに関する内容・大学院での研究計画についての質疑応答をします。口頭試問の際、卒業研究又は大学院での研究計画に関する資料（A4サイズ用紙1枚を10部）を持参してください。</p> <p>【専門科目】 数学〔微積分学、線形代数〕、物理〔電磁気学、力学、量子力学、物性物理学〕、化学〔無機化学、有機化学、物理化学、熱力学〕等に関する内容から出題します。希望領域によらず指定された問題数を選択してください。</p>

コース名	口頭試問及び専門科目
共生応用化学	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。</p> <p>【専門科目】 無機化学，物理化学，有機化学の各分野からそれぞれ1題ずつ，合計3題出題します。出題される3題すべてを解答してください。</p>
建築学	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。口頭試問の際，大学院での研究計画に関する資料（A4サイズ用紙1枚を10部）等を持参してください。</p> <p>【専門科目】 次に掲げる5科目1～5のうち，2科目を選択してください。 1.建築史・都市計画 2.建築計画・建築設計 3.建築環境・設備・建築構法・生産 4.構造力学・構造解析 5.構造設計・材料 なお，選択する2科目は，第1志望及び第2志望の指導教員が指定する科目を必ず含むようにしてください。</p> <p>※建築学コースの志望する指導教員が指定する科目は，志望する指導教員に問合せください。</p>
イメージング科学	<p>【専門科目】 専門科目の筆記試験はありません。 卒業研究の概要及び大学院の研究計画に関して，事前に準備したスライド又はビデオなどを用いて説明してもらい，それに関する質疑応答を行います。また，イメージング科学に関する基礎知識について，口頭試問による学力検査を行います。</p> <p>なお，TOEIC等のスコア票は口頭試問時に回収しますので，原本及びコピーを必ず持参すること。</p>
デザイン	<p>【口頭試問】 全員が対象です。受験しないと失格になります。口頭試問の際，現在取り組んでいる研究・制作について（ただし，現在研究・制作を行っていない場合は，これまでに取り組んだ代表的な研究・制作について）記した研究報告書（A4サイズ用紙縦：横書き）を5部持参してください。</p> <p>【専門科目】 専門科目は，共通科目と選択科目の2科目によって構成されています。 ○共通科目：デザイン全般に関わる基礎的な素養を問います。 ○選択科目：デザインに関する展開力を問います。 以下の分野から出題される問題のうち，任意の1問を検査場で選択してください。 ①インダストリアルデザイン ②構造・材料 ③コミュニケーションデザイン ④人間工学 ⑤デザイン心理学 ⑥環境デザイン ⑦デザイン論・デザイン史</p>

コース名	口頭試問及び専門科目
機 械 工 学	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。</p> <p>【専門科目】 以下の4科目を出題します。出題される全問を解答してください。各科目の出題範囲は、おおむね以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械力学（制御工学を含む） [質点及び質点系の力学，剛体の力学，解析力学，多自由度系の振動，伝達関数と状態方程式，時間応答と周波数応答，線形フィードバック制御] ・材料力学 [棒の引張・圧縮・ねじり，はりの曲げ，組合せ応力，ひずみエネルギー，座屈] ・熱力学 [第一法則，第二法則，状態量，サイクル，エントロピー] ・流体力学 [ベルヌーイの定理，運動量法則，ポワズイユ流れ，ポテンシャル流れ，管路内の圧力損失，流体の静力学]
医 工 学	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。</p> <p>【専門科目】 微分積分，線形代数，工業数学，力学，電磁気学，回路理論に関する内容から出題します。</p>
電 気 電 子 工 学	<p>【口頭試問】 学力検査の免除を希望する者のみを対象に実施します。口頭試問の結果により学力検査免除が“否”と判定されても、学力検査を受けることができます。</p> <p>【専門科目】 おおむね以下の内容を中心に出題します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工学基礎 [線形代数，微積分，質点系の力学，剛体の力学，熱統計力学] ・電磁気学 [静電界，誘電体，電流，静磁界，磁性体，電磁誘導，電磁波] ・回路理論 [正弦波交流，集中定数回路，共振回路，二端子対回路，回路の諸定理，三相回路，過渡現象，分布定数回路]

学力検査等で使用できるものは以下のものに限りませす。

全 コ ー ス 共 通	鉛筆，シャープペンシル，消しゴム，ボールペン（黒，青，ブルーブラック），携帯用鉛筆削り（電動式を除く）
都 市 環 境 シ ス テ ム	定規
共 生 応 用 化 学	電卓（四則演算のほかは，べき乗計算，三角関数，逆三角関数，対数関数，指数関数などの初等関数作業計算にのみ限定します。プログラム機能は使用できません。なお，AC電源は利用できません。）
建 築 学	1. 建築史・都市計画，2. 建築計画・建築設計を選択する者は，全コース共通の筆記用具ほか，定規（目盛り付き定規，又は三角スケールでいずれも30cm以内），色鉛筆（24色程度）を持参してください。それ以外の用具（例：テンプレート，コピーック，パステル）は使用できません。
機 械 工 学	電卓（四則演算のほかは，べき乗計算，三角関数，逆三角関数，対数関数，指数関数などの初等関数作業計算にのみ限定します。プログラム機能は使用できません。なお，AC電源は利用できません。）

(4) 配点

コース名	7/20 口頭試問 (学力検査免除)	外国語 (英語)	専門科目	面接	合計
情報科学	100 点 (可・否)	100 点	300 点		500 点
リモート センシング		100 点	【口頭による】 200 点		300 点
都市環境 システム	(可・否)	100 点	300 点	100 点	500 点
物質科学	(可・否)	100 点	300 点		400 点
共生応用化学	(可・否)	100 点	400 点		500 点
建築学	(可・否)	100 点	300 点		400 点
イメージング 科学		100 点	【口頭による】 200 点		300 点
デザイン	(可・否)	100 点	300 点		400 点
機械工学	(可・否)	100 点	400 点	採点せず	500 点
医工学	(可・否)	100 点	200 点	100 点	400 点
電気電子工学	(可・否)	100 点	500 点		600 点

【TOEFL・TOEIC L&R のスコアを提出する場合の共通事項】

工学系コースでは外国語(英語)科目は、筆記試験を行わずに TOEIC L&R, TOEFL-PBT, TOEFL-iBT のうち、いずれかのスコアシート(2017年6月以降に受験したもののみ有効)の提出に置き換えます。出願時にスコア原本の提出ができない場合は、出願期間前に工学系コース担当係までご相談ください。

○工学系コースで有効となる TOEFL・TOEIC L&R のテスト及び提出書類は以下の通りとなります。

①・・・TOEFL-iBT ②・・・TOEFL-PBT ③・・・TOEIC L&R

※TOEIC-IP (Institutional Program), TOEFL-ITP (Institutional Testing Program) 等の団体特別受験制度によるもの(成績証明書)及び TOEIC S&W は利用できません。

・提出書類(いずれも原本を提出してください)

- ①TOEFL-iBT の場合 Examinee Score Report (受験者用控えスコア票)
- ②TOEFL-PBT の場合 Examinee Score Report (受験者用控えスコア票)
- ③TOEIC L&R の場合 Official Score Certificate (公式認定証)

○TOEFL・TOEIC L&R のスコアは以下の方法により換算します。

- ・TOEFL-PBT, TOEFL-iBT のスコアについては, 以下の換算式・換算表に基づき TOEIC L&R の点数に換算した後, 各コースの配点を基準に再換算します。

$$\text{TOEIC L\&R} = ((\text{TOEFL-PBT}) - 296) \div 0.348 \quad (\text{工学系 換算式})$$

なお, TOEFL-PBT, TOEFL-iBT の得点換算は, 22 ページの得点換算表に基づき換算した後, 各コースの配点を基準に再換算するものとします。

- ・TOEIC L&R の Official Score Certificate (公式認定証) は, 各コースの配点を基準に換算します。

(5) 学力検査等の場所

千葉大学西千葉キャンパスで行います。詳細は, 注意事項掲示で確認してください。

(6) 注意事項

- (1) 口頭試問に必要な事項を 2019 年 7 月 19 日 (金) 10 時に工学部掲示板に掲示します。
- (2) 学力検査に必要な事項を 2019 年 8 月 15 日 (木) 10 時に工学部掲示板に掲示します。
- (3) 検査当日は, 受験票を必ず持参・携帯してください。
- (4) 検査当日, 最寄りの駅から検査場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがあります。これらの行為は本学とは一切関係ありませんので, 不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう充分注意してください。そのような事故が生じても本学は一切責任を負いません。

TOEFL-PBT, TOEFL-iBT の得点換算について

TOEFL-iBTの 得点	TOEFL-PBT の得点	TOEFL-iBTの 得点	TOEFL-PBT の得点
120	677	51	467
120	673	49-50	463
119	670	48	460
118	667	47	457
117	660-663	45-46	450-453
116	657	44	447
114-115	650-653	43	443
113	647	41-42	437-440
111-112	640-643	40	433
110	637	39	430
109	630-633	38	423-427
106-108	623-627	36-37	420
105	617-620	35	417
103-104	613	34	410-413
101-102	607-610	33	407
100	600-603	32	400-403
98-99	597	30-31	397
96-97	590-593	29	390-393
94-95	587	28	387
92-93	580-583	26-27	380-383
90-91	577	25	377
88-89	570-573	24	370-373
86-87	567	23	363-367
84-85	563	22	357-360
83	557-560	21	353
81-82	553	19-20	347-350
79-80	550	18	340-343
77-78	547	17	333-337
76	540-543	16	330
74-75	537	15	323-327
72-73	533	14	317-320
71	527-530	13	313
69-70	523	12	310
68	520	11	310
66-67	517	9	310
65	513	8	310
64	507-510	7	310
62-63	503	6	310
61	500	5	310
59-60	497	4	310
58	493	3	310
57	487-490	2	310
56	483	1	310
54-55	480	0	310
53	477		
52	470-473		

7 合格者発表

2019年9月6日（金）14時に理学系コースは理学部1号館掲示板に、工学系コースは工学部掲示板に掲示します。

合格者には合格発表後速やかに合格通知書及び関係書類を簡易書留郵便で送付します。

なお、結果についての電話やEメールによる問合せには一切お答えできません。

8 入学手続

(1) 入学手続日

入学時期	系	コース	入学手続日	入学手続書類
2019年 10月入学		全てのコース	2019年9月19日（木） 9月20日（金）	合格通知書とともにEMS又は簡易書留郵便で送付します。
2020年 4月入学	理学系	数学・情報数理学，地球科学， 物理学，化学，生物学	2020年3月26日（木） 3月27日（金）	入学手続書類は，2月中旬にEMSまたはレターパックライト等で送付します。
	工学系	情報科学，リモートセンシング 都市環境システム，物質科学， 共生応用化学，建築学， イメージング科学，デザイン， 機械工学，医工学， 電気電子工学	2020年3月16日（月） 3月17日（火）	

- (注) 1 入学手続には、「受験票」又は「合格通知書」の提示が必要ですので大切に保管してください。
2 上記期間内に入学手続を完了しないと，入学を辞退したものとみなされます。

(2) 入学時の必要経費等

- 入学料 282,000 円
- 授業料 半期 267,900 円 年額 535,800 円

(注) 1 2020年4月入学者の前期分授業料は5月に，2019年10月入学者の後期分授業料は11月に口座引落により納入していただきます。翌期以降の授業料については，前期分授業料は4月，後期分授業料は10月が口座引落の月となります。口座引落手続についての詳細は，入学手続の際に改めてお知らせします。

2 授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新授業料等が適用されます。

なお，2020年4月入学者から，授業料の改定を検討しております。改定する場合には，7月頃までに千葉大学ホームページ等でお知らせします。

3 入学料及び授業料が免除される制度があります。

詳細は，千葉大学ホームページ

<http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html> をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問合せ先

学務部学生支援課 電話：043（290）2178

- 学生保健互助会費 4,000 円（2年分）

全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）

疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。

詳細は，学生保健互助会へ問合せてください。

電話：043（290）2220 Eメール：def2219@office.chiba-u.jp

- 学生教育研究災害傷害保険料 2,430 円（2年分・付帯賠償責任保険を含む）

全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。

詳細は、学務部学生支援課へ問合せてください。

電話：043（290）2162

Eメール：ddc2162@office.chiba-u.jp

9 修了要件

本学府博士前期課程の標準修業年限は2年です。修了要件は2年以上在学し、本学府で定めた単位を30単位以上修得し、修士論文又は特定の課題についての研究の成果（修士制作等）の審査及び最終試験に合格することが条件となります。

10 早期修了について

在学中、上記修了要件を満たし、かつ優れた業績をあげた者については、1年間で修了できます。

11 昼夜開講制について

本学府博士前期課程では、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他の時間又は適切な時期に講義を聴講し、研究を行うことができます。

希望者は、出願前に事前に志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

12 長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、1年間又は1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本学府の標準修業年限（博士前期課程は2年間）を超えて在学しなければ課程を修了することができないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の2年間（4学期）の総額を在学期で除した額を分割して支払うこととなります。

本制度を希望する者は、出願前にあらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

13 特別プログラムについて

基幹工学専攻機械工学コース、医工学コース及び電気電子工学コースでは、千葉大学と上海交通大学の国際共同教育研究プログラムがあります。

プログラムについての詳細はホームページ（<http://icrc.chiba-u.jp/>）で確認してください。

※本プログラムは、一般選抜入学試験合格者を対象にしたプログラムです。

14 成績の本人開示について

本試験に関する個人成績を、受験者本人からの申込に基づき開示します。なお、個人情報の保護のため、代理人による申込はできません。

(1) 成績開示対象者：本試験を受験して不合格となった者

(2) 申込受付期間：2019年9月9日（月）から2019年9月27日（金）まで（必着）

また、申込の際には受験票が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

詳しくは、志望コースの担当係に問合せってください。

融合理工学府案内

1. 入学者受入れの方針

博士前期課程においては、問題に対する関心が旺盛で、広い学問的視野に立ち、時代を切り開く学識を身に付ける意欲をもつ人の入学を求めています。また、自立した理工系高度専門職業人、知識基盤社会を支える高度で知的素養のある人材として社会の発展に貢献する意欲をもつ人の入学を求めています。

2. 教育課程

● 数学情報科学専攻 Division of Mathematics and Informatics

○ 数学・情報数理学コース Department of Mathematics and Informatics 《理学系コース》

博士前期課程では、数学・情報数理学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、基盤代数学特論、応用代数学特論、微分幾何学特論、位相幾何学特論、基礎解析学特論、応用解析学特論、確率統計学特論、応用数理学特論、基盤情報数理学特論、応用情報数理学特論が開講されている。これらは選択必修科目であり、原則として1年次に3科目以上履修する。その他の授業科目は、選択必修科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、開講されている。さらに進度の早い学生は、博士後期課程用の授業を履修することができる。学生は修士論文の指導教員と相談し、これらの授業科目の効果的な履修計画をたてることができる。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

○ 情報科学コース Department of Applied and Cognitive Informatics 《工学系コース》

博士前期課程では、情報科学の基礎理論・コンピュータの基幹教育・応用教育・認知科学と主要な各専門領域に関する高度な専門知識の修得と基礎力養成のため、データ構造学、応用離散数学、情報理論特論、符号理論特論、分散情報処理、ネットワークセキュリティ、音声情報処理、人工知能、言語情報学、形態知覚論などの科目が開講されている。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、「情報科学の基礎理論」、「コンピュータの基幹領域」、「コンピュータの応用領域」、「認知科学領域」を深く学ぶことを目的として、その他の専門科目を履修すると共に、特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

● 地球環境科学専攻 Division of Earth and Environmental Sciences

○ 地球科学コース Department of Earth Sciences 《理学系コース》

博士前期課程では、岩石鉱物学特論－1，2，地球ダイナミクス特論－1，2，層序学特論－1，2，地表動態学特論－1，2のうち3科目以上を、原則として1年次に履修する。これらの科目の履修により地球科学全般の基礎を理解した上で、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、地球科学に関する諸問題を検討・解決できる能力を育成する。

博士後期課程では、博士前期課程で上記の選択必修科目を履修していない場合には、これらの4科目を履修して地球科学全般の基礎を修得することを推奨する。また、専門領域の選択科目を履修して高度な専門知識を修得する。

さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、地球科学の諸現象を解明できる能力を育成する。

○ リモートセンシングコース Department of Environmental Remote Sensing 《工学系コース》

博士前期課程では、地球表層観測学、地球環境計測学の2科目を、原則として1年次に履修する。これらの科目の履修により地球環境を対象とするリモートセンシングの基礎を理解した上で、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通じて、リモートセンシングに関する諸問題を検討・解決できる能力を育成する。

博士後期課程では、博士前期課程で上記の選択必修科目を履修していない場合には、これらの2科目を履修して環境リモートセンシング全般の基礎を修得することを推奨する。また、専門領域の選択科目を履修して高度な専門知識を修得する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、リモートセンシングに関わる環境観測分野における能力を育成する。

○ 都市環境システムコース Department of Urban Environment Systems 《工学系コース》

博士前期課程では、以下の3点を骨子としたカリキュラム構成とする。1) 6年一貫教育体制：博士前期（修士）課程修了後に就職するニーズに応え6年間を体系化した教育を重視、2) 学際的・総合的教育の実践：教育研究分野に対応した基幹科目の習得と専門性の深化と同時に、複数教員が連携して運営する複合的科目によって学際性の高い内容を提供、3) 国内外の最新の社会的ニーズに対応：社会的関心が高いテーマ（少子高齢化、防災安全安心、省資源、最新ICT技術）を選定。また、講義で習得した知識を実践する場として「国際研究実習」を推奨し、グローバルかつ、広い視野を備えた人材育成をめざす。

博士後期課程では、博士前期課程修了者、および国内外から優秀な人材を求め、高度な研究遂行・計画実践能力をバランスよく運用できる総合力を育成することを主眼に教育を行う。

● 先進理化学専攻 Division of Advanced Science and Engineering

○ 物理学コース Department of Physics 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、物理学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、解析力学、物性実験物理学、一般相対論、相対論的量子力学、ゲージ場の理論、凝縮系物理学、宇宙物理学概論、物性理論物理学を選択必修科目として、原則として1年次に2科目以上履修する。これらの選択必修科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。更に、学生の理解度に応じて、指導教員は博士後期課程用講義科目の履修を指導する。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

○ 物質科学コース Department of Materials Science 《工学系コース》

共通基盤となる分子物理学特論（I・II）、表面物性特論、光物性科学特論といった基礎物性系科目の修得とともに、物理学的な専門性を目指す学生は磁性物質科学特論、量子多体物理学特論、量子輸送科学特論、先端光計測特論といった応用物理学系科目を、また化学的な専門性を目指す学生はディスプレイ工学、電子像変換工学、像物質科学、分子光科学といった応用化学系科目を中心に履修し、物質科学・先端的な光科学にまたがる広い研究分野を横断的に履修することを推奨する。物質科学を広い視野で俯瞰することで、優れた問題解決能力を有する人材を育成する。

博士後期課程では、物質科学に関する高度な研究の基盤となる学生参加型の講義を中心とし、特に国際的活動を強化する科目の履修を行う。多様な領域を融合した教育を行い、物質科学とそれを支える分野における高い課題発見能力と応用展開力、研究遂行能力をもつ人材を育成する。

○ 化学コース Department of Chemistry 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、化学の幅広い学問的教育分野への関心と理解を促すため、比較的入門的な授業（基礎物理化学－1，2，基礎無機・分析化学－1，2，基礎有機化学－1，2，基礎生化学－1，2）と先進理化学専攻特別講義Ⅲa，Ⅲbが選択科目として開講されている。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、上記以外の39科目の選択科目を履修する。また、多様な物質に接する機会をより多く得るために、特別演習Ⅰ，特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、複数の領域における専門的基礎を習得できるように、1年次に博士前期課程との共通科目である基礎物理化学－1，2，基礎無機・分析化学－1，2，基礎有機化学－1，2，基礎生化学－1，2と先進理化学専攻特別講義Ⅲa，Ⅲbを選択科目として設定してある。さらに専門的な習熟度を高める目的で他の31科目の専門科目（選択科目）を履修する。

○ 共生応用化学コース Department of Applied Chemistry and Biotechnology 《工学系コース》

博士前期課程では、学部で修得した無機化学，有機化学，分析化学，そして物理化学についての基礎的かつ体系的な知識や考え方を一層深めるとともに、社会の課題へ具体的に適用し解決する能力を育成するための専門科目を設定している。これらの専門科目の理解のもと、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、特別演習Ⅰ，特別研究Ⅰを必修科目として履修する。また、研究成果を社会に還元する知識を養うための「実践知的財産権」という授業科目を設定している。

博士後期課程は、博士前期課程からの進学者のほか、社会人など、学外からの進学者にも門戸を開いている。本課程では、高度な研究遂行能力を有し、自立した研究者，技術者の育成を目指した教育を受けることができる。学生は所属する教育研究領域での専門性を深めるとともに、他の領域との連携により、広い視野を身につけることが可能となる。

○ 生物学コース Department of Biology 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、生物学の幅広い分野への関心と理解を促し、知識の習得と基礎力を養成するため、分子生物学，生理化学，細胞生物学，発生生物学，生態学，系統学等の授業が開講されている。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、その他の専門科目を履修すると共に、特別演習Ⅰ，特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、複数の領域における専門的な基盤を習得できるように、1年次に博士前期課程との共通科目を選択科目として設定してある。さらに、専門的な習熟度を高める目的で、他の専門科目を選択して履修する。

● 創成工学専攻 Division of Creative Engineering

○ 建築学コース Department of Architecture 《工学系コース》

博士前期課程では、建築および都市の歴史，デザイン・プランニング，建築の構造および防災，環境・設備，生産（構法）などの総合的な学問および技術である建築学に関する幅広い視点を有し、総合的な技術・学問を実社会で応用できる高度専門技術者を養成するため、専攻内共通科目（建築・都市と人間の歴史，建築環境計画理論，構造信頼性理論，等）が開講されており2単位以上を履修する。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、上記以外の専門科目を履修する。また、多様な社会的課題に接する機会をより多く得るために、特別演習Ⅰ，特別研究Ⅰを

必修科目として履修する。科目構成は学部4年生との連続性を密にし、6年一貫教育を目指している。

博士後期課程では、主として建築学の専門研究者・技術者を養成する教育を行うため、講義としては教員が自己の専門領域について、専門性の高い講義を特論として行い、原則として隔年で開講する。なお、博士後期課程の教育は、指導教授個人あるいはグループによる研究指導が中心になる。

○ イメージング科学コース Department of Imaging Sciences 《工学系コース》

博士前期課程では、イメージング科学分野の幅広い知識の修得と基礎力を養成するために、イメージングシステム特論、知的画像処理工学、コンピュータイメージ特論、色再現工学、視覚工学、マルチメディア情報処理、画像解析、質感設計特論といった専門的基礎科目を履修する。これらの理解の上に立ち、他コースとの連携によって、関連専門科目を履修するとともに、特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、専門領域の選択科目を履修して高度な専門知識を修得する。さらに、実践的な特別演習Ⅱと特別研究Ⅱを通して、イメージング科学の課題を解決するための研究遂行力や計画実践力を育成する。

○ デザインコース Department of Design 《工学系コース》

博士前期課程では、幅広いデザイン領域を理解するために「人間—生活環境論、材料計画論、文化計画論」などの基盤科目群と、「プロダクトデザイン計画論、デザインマネージメント論、生活環境デザイン論」などの応用科目群が、さらに「海外大学アライアンスプログラム、デザイン・インターンシップ・プログラム、グローバル デザイン スタジオワーク」などのグローバル展開科目群が開講されている。これらの科目の理解の上に立ち、各領域を深く学ぶことを目的として、その他の専門科目を履修すると共に、特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、高度な専門性を修得するために、「人工物感性論、コミュニケーションデザイン論、行動環境デザイン論、エコデザイン論、生理人類学、ケアデザイン論」などの専門科目群が開講されている。さらに、専門的な習熟度を高める目的で、他の専門科目を選択して履修する。

● 基幹工学専攻 Division of Fundamental Engineering

○ 機械工学コース Department of Mechanical Engineering 《工学系コース》

博士前期課程では、機械工学の基盤となる基礎知識と専門領域の学問を修得するため、「機械を構成する部材の材料・強度・変形」、「生産技術、トライボロジー理論、さらにはマイクロ加工システム・要素」、「輸送機器、生産システムなどのシステム制御、生物・生体の特性や機構を模倣した機器設計」、「最小エネルギーによる最大効率のための環境・熱流体エネルギー」に関する授業科目が開講されている。さらに、総括的に特別演習と特別研究を行い、問題発見能力と問題解決能力を養成する。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

○ 医工学コース Department of Medical Engineering 《工学系コース》

博士前期課程では、医工学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、機械工学、電気電子工学、情報工学の基礎を修得したうえで、これらの工学的知識をさらに深めるとともに、医学・生物学を理解し、医工連携による臨床に役立つ機器開発のための講義科目を選択して履修することができる。また、生体医工学に関する実践的な教育研究を、フロンティア医工学センター、医学研究院および附属病院等と緊密な連携により、必修科目の特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰとして履修することができる。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

○ 電気電子工学コース Department of Electrical and Electronic Engineering 《工学系コース》

学部での基礎的電気電子工学、および関連する機械工学、情報工学分野の学問領域を修得した上で、博士前期課程（修士）では電気システム工学、電子システム工学、情報通信工学の各領域に関する専門科目をより深く理解し、幅広く社会で活躍できる人材の教育を行う。

博士後期課程では、主に電気電子系コース博士前期課程（修士）からの進学者や学内外からの当該分野の志願者を中心に、電気電子工学を基盤とした研究開発を担う人材を育成するために、高度な課題解決能力と応用展開力、研究遂行能力を持つ人材を育成する。